

さくちゅう

桜山中だより

12月

1年生福祉体験学習

1年生の総合学習のテーマは「福祉」です。聴覚障がいのある方と手話通訳ボランティアの方をお招きして、12月3日に手話体験を行いました。聴覚障がいのある方が、他の人とのコミュニケーションを実際にどうやってとっているのかについて学びました。また、実際にみんなで一緒に手話に取り組んで覚え、代表者が、耳が聞こえない状況の中で手話などを活用して相手に自分の意思を伝える体験なども行いました。

手話体験では、講師の方のレクチャーに従って、身振り手振りで意欲的に行う姿が見られました。このような体験を通して、聴覚障がいのある方への理解が深まり、手話の大切さなどを知ることができました。



講師の方によるレクチャー



みんなで手話を覚える



聴覚障がいの状態を実際に体験

地域交流会

毎年、学区の高齢者の方と交流する地域交流会ですが、コロナの影響により、昨年度は手作りのものを渡すのみの交流でした。今年度は少しでも交流ができるように、御器所学区（12月27日）、松栄学区（1月6日）の各サロンにて、短時間で参加することになりました。

当日は、手洗いやマスク、消毒など感染症対策をしっかりとった上で、生徒会執行部が、毛糸で作った手作りの飾り物を高齢者の方に直接手渡しました。この飾り物は執行部が有志を募り、約60名のボランティアで製作したものです。その飾り物を受け取った高齢者の方々は、久しぶりの桜山中生とのふれあいもあって、大変喜んでいただきました。



贈り物についての説明



高齢者の方への手渡し



リクエストに応じて、校歌を披露